

波紋

No. 291

平成21年09月

2009 Sep.

長年の汚れもこの通り・・・!

お盆休み前に、要工場にてフォークリフト・リーチリフトのペンキ塗りを行いました!

どちらも長年使用しているので(写真左側：約18年・写真右側：約13年)擦り傷、汚れが多々ありましたが今回のペンキ塗りで明るい車体に。今後も要工場、本社共々キレイにしていきます!

約18年使用

約13年使用



『読書も重要ですが・・・』

社長 森直樹



以前は少しでも気になる本があるとアマゾンに注文して届くのを待つ、空き時間はまだ読めていない本を広げる、といった活字大好きな人間でしたが、最近ではほとんどこれは読みたい、読まなければ、といったもの以外は注文しなくなりました。というのも頭に入ってくる情報に対して、実際にそれを自分で動いて検証する時間や、何よりも「自分の頭で考える」時間も読書の時間に充てていたところがあります。読書自体は必要ではありませんが、バランスが大切です。学んだことは実際に自分で試してみたり、自分に対してどのように応用できるかを振り返って考えてみる時間が、読書同様に大切であるというのを感じております。つまりあらゆる問題の答えは本のどこかに書いてあるわけではなく、自分の周りに答えがあるということです。また、そのためには意識して自分の頭を働かせるような環境を自分で用意する、といったことも必要でしょう。

GW・お盆・正月と連休では社内では読後感を社内の掲示板に流すように弊社では行なっておりますが、大切なのはどんな本を読んだ、ということよりも、その本を読んだ結果、自分がどういったことを始めたか、またはどういったことを変えたか、ということです。それによって新たな発見があり、またなによりも自分自身の学びとなります。

読書と思考のバランス、皆さんはどうですか?

「便利だからこそ、 マナーに気をつけたい「携帯電話」」

伊東 郁二（特販部）



最近、新幹線内での「携帯電話のマナーの悪さ」を感じる。50歳前後である男性で、会社ではある程度の役職が付いているのである。人達の年代に多い気がする。俗に言う「おばちゃん」は、もう論外である。「マナーモード」を知らないのか？知っているけれど操作できないのか？切り替えるのを忘れてしまうのか？気にもせず自分勝手なのか・・・未だに理解できない。呼び出し音は、なぜか決まって「黒電話のリン・リン」か、「ド演歌」が多い。マナー違反3パターンは、次の通り。

- ・カバンの中に入れて、棚の上でいつまでも鳴っているパターン。
- ・大きな声で堂々と席で会話するパターン。
- ・大きな音で鳴っているのになかなかでないパターン

先日、静まり返った車内に1本の電話。呼び出し音は「黒電話」。リンと1回大きな音で鳴る。「マナーモードにしとけよ・・・」と心の中で思う。リン・リンと5回目。いい加減にでるよ！と心の中で怒れてくる。リン・リン・リンと10回目。誰だ！早く出ろ！自分の電話が解らないのか・・・！！とイライラしてくる。車内もザワザワとざわついてきた。そこで初めて座席を立ち、棚の上のカバンから携帯を探すが電話が切れた。何事もなくまたカバンの中へ入れて棚の上に置いた。お決まりでそんな奴に限ってまた連続で電話がなる。「黒電話だ！またお前か・・・？それもまた決まって10回以上も鳴らされる。今度はカバンの中から素早く電話に出て、その場で大声で話し出す。寄りによつて大笑いしている。1人で「マナー違反3パターン」を全部やり遂げた。もう最低の野郎だ・・・。

最近、自分勝手にマナーの悪い人達が目立つ。車掌も周囲もまったく言わないのも悪いのだが・・・。



「やっぱりいい高校野球」

吉岡 孝記（営業部）



まだまだまだ長い不況が続いて先の見えない苦しい日々、倒産、廃業等も身近に起こりだし政治の停滞、犯罪の低年齢化、自殺者の増加、芸能界の汚染等数えればきりがなく程暗い話ばかり、明るい話を探してみてもなかなか出てこない。ふと、テレビを付けると目に飛び込んできたのが高校野球。そういえば最近ぜんぜん見ていないなあと思いつつ「と見ている」といつい見入ってしまった。なんでこんなに必死に投げて走って、打ってできるのだろう。負けて甲子園の土を袋に入れながら泣いている姿に、こんなに純粋になれる物だなと関心をもち、甲子園に出ると言う目標をチーム全員で共有し、さぞかし目標練習をしたのだろう、今日負けても次があるプロ野球とはちがう。思いがひしひしと感じられ、すがすがしい気持ちになりました。

何かに一心不乱に打ち込んでいる姿は美しい。年を重ねるにつれだんだんこんな気持ちの薄らぎでゆく自分の情けなさを感じてばかり。

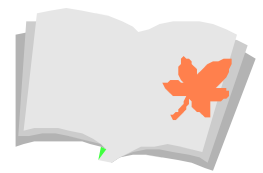




読

後

感



『涙の数だけ大きくなれる!』

著者 木下 晴弘

この本を読んで、感動する事の大切さや涙がでてくる気持ちというモノをいかに受けてめるかが、人生の分岐点に感じとれば変わるという大切なものを見いだせるように感じました。内容としては短編ですが、何かのきっかけで変われるものだと思えるし、特に「あるレジ打ちの女性」の章を読むといつの間にか内容にのめり込まれて、長続きしない仕事に対して幼いころの「夢」に対しては長続きした事を思い出し、それを仕事に取り入れた事により、今まで見えなかったものが見えてきて感じなかった事に気付きそれが何時のまにが単調の仕事の中から、お客様とのコミュニケーションを取るきっかけが生まれ、それが機に変わる瞬間があると思いました。人は変わる瞬間というものは、衝撃的な出来事・人との出会いであり、誰もが経験できるものが「涙」であるように、

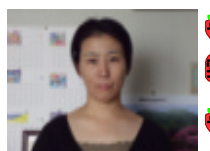
人を変えるものだとおもいます。自分自身も変わらなければいけないし、変えたいという気持ちがあるのにその一歩が踏み出さない気がします。きっかけはすぐそばにあるものなのに気付かない自分自身がすごく嫌に感じました。



長崎 修 (特販部)

「ケチと節約の違い」

大和田 夕美 (企画営業部)



不景気になり、収入も減り、支出も控えなくてはと、頭の中では節約節約と考えていますが、いくら節約したのかと考えても、特売品を買った!いつもより、安い外食をした!で、満足していたような気がします。だからといって、ケチケチするのも・・・。

ケチとは・・・金銭や品物を惜しがって出さないこと。
また、そのようなさまや、人。
節約とは・・・無駄をはぶいて、切り詰めること。

自分がどちらのタイプかは、周りの方に聞けばすぐ分かると思いますけど・・・。
たまには家計簿をつけてみようかと思い、いろいろ調べてみたのでご紹介したいと思います。

<TITIX>

<http://money.cocokulu.jp/money/>
他の家庭と比較、子供が大きくなったときの10年後の家計診断等

<LOCOMOM>

<http://www.lococom.jp/LP/Lope.my055/>
健康管理ページもついています。毎日の体重を入力してメタボ対策

<かんたんお金のメカ>

<http://gadget1.jp.moneykit.net/index.html>
おこづかい金額を入力して、毎日使った分を入力していくとつても、シンプルでかわいいです。
まだまだ、不景気が続くかもしれませんが、楽しむことも忘れずに毎日過ごせるようにしたいと思いました。



お知らせ

第17回元気が出る森松展

【テーマ】Action ~動かなければ・・・変わらない~

【開催日時】2009年10月15日(木)~10月16日(金)
<9:00~17:00>

【会場】森松株式会社本社ビル 5F

9月の予定

5日(土) 第一土曜日休み

8日(火) 志水満さん誕生日

12日(土) 第二土曜日休み

14日(月) 安井浩二さん誕生日

19日(土) 第三土曜日休み

21日(月) 敬老の日

22日(火) 国民の休日

23日(水) 秋分の日

25日(金) 生産会議
11時30分~12時50分

CS向上会議

14時~15時

経営会議

15時40分~16時40分

26日(土) 第四土曜日休み
(休業実施日)

「ガンダム」

松井宣和(製造部)

先日、友達二人とお台場に行ってきました。目的は、等身大ガンダムです。

出かける前日、天気予報では東京は雨で降水確率70%。それでも、雨天決行で段取り午前0時に名古屋を出発しました。道中雨が降り始め次第にドシャ降り、この雨にまた東京で降られたら凹むなーと会話しながら、午前3時30分お台場到着。心配だった雨は、降ってないラッキー。フジテレビが目の前の駐車場に車を停めて、まだ周りは暗い中さっそくガンダムを観に行きました。自然と早歩きに・・・どこガンダム・・・場所はお台場潮風公園に高さ18M(等身大ガンダム)あっても、木々で隠れて姿が見えない。数分歩いて在ったぞ俺のガンダム。見た瞬間から自分のガンダムにしている。感想 どういうやーでやーがやー思ってたよりもカッコイイなーしばらく見とれて動けない。来場してくる人、次から次へ雄叫び上げていて聞いていて面白い。

記念撮影はガンダムを背景にしてパシャ。周りが暗すぎて闇のまま人間しか写ってない。デジカメの設定を色々ためし写真を撮る。次第に夜が明けてくると、少しずつガンダムが鮮明になって現れてくる。そのたびに、またデジカメでガンダムを中心に何周したことか?3~5週???もう10回くらい周ったかな。なぜか飽きてこない、気がついていたら午前6時。お台場着いてからすでに2時間30分経っていた。

いったん駐車場に戻り2時間ほど食事と仮眠を取り、ふたたび会場へ足を運びオフィシャルショップへ。先頭で並びはじめ、限定のガンプラとパンフレットその他を買いに並び、ショップが開くのは10時から。目の前にガンダムがあるせいか、2時間待ちにも苦にならずにすみ、グッズゲットできました。

会場では「ガンダム」というものに、話をしているのが、あちらこちらから聞こえてきます。学生から中年の人まで幅広い間でガンダムは愛されていると感じました。

